

科目名	キャリアデザイン特講A			ナンバリング	CAR241	授業形態	演習
対象学年	2 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	金世煥	担当教員	山口健二、裴鍾民				

授業の概要	本授業の目的は、「キャリアデザイン2」の後続科目として、その成果をチームでブラッシュアップすることを通じて、地域基盤型職業人としての基礎力を確実なものにすることである。「キャリアデザイン2」で発表した提案書及び企画案を深堀するか、あるいは実施するという2つの方法がある。最後に成果のプレゼンテーションを公開で行うことで実践的なプレゼンテーション能力を身に付ける。授業では、提案書あるいは企画案に対する関連データや関連先の状況を確認しながら、グループ別の実施案を指導する。						
到達目標	最終プレゼンテーションは、「キャリアデザイン2」の成果を超えるものでなければならない。 - キャリアデザインに必要な地域社会の理解と知識を学習することができる。 - 与えられたテーマに対して、自分のアイディアや意見などを提案及び実施することができる。 - グループディスカッション形式で行われるため、調和性やチームワークを理解することができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	各テーマに関わる関連資料やキーワードなどを様々な情報媒体を活用し事前に調べておいて、各授業の内容を正確に理解するようにする。また、グループディスカッションや質問などを通じて、各授業に積極的に参加し、最終成果物の質を高めるようにする。						
ディプロマポリシーとの関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①与えられた地域の課題に関する問題点や現状などがより詳しく説明できる。 ②与えられた地域の課題に対して、関連データや現場事情などを把握するためのフィールドワークを行い、最終成果物として提案書及び企画書の成果資料がより詳しく製作できる。 ③研究成果として、まとめた企画書及び提案書のプレゼンテーションをより詳しく正確的に行うことができる。	①与えられた地域の課題に対する問題点や現状などを明確に把握し、最終成果物として実際応用できる提案書及び企画書の成果資料がより詳しく製作できる。 ②説得力ある文書や根拠資料などを活用し、論理的な企画書および提案書の作成がより正確にできる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○	○	○				20%
授業態度・授業への参加	○	○	○	○			30%
最終成果物の内容	○	○	○	○	○		40%
プレゼンテーション					○		10%

課題、評価のフィードバック	講義の後半に、講義内容に関する振り返りを行う。
---------------	-------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	特講Aガイダンス (全員)	特講Aの概要や今後の流れについて解説する。	
	第2回	各テーマ別発案者とのグループディスカッション (全員)	特講Aの目的と構成、そして進め方など、授業の流れについて解説する。	
	第3回	各テーマ別企画案の確認① (全員)	各テーマ別の進捗状況の確認を行う。(各テーマ別に行う)	
	第4回	各テーマ別企画案の確認② (全員)	各テーマ別の進捗状況の確認を行う。(各テーマ別に行う)	
	第5回	各テーマ別関連資料の収集① (全員)	各テーマ別関連資料を集めて行く。(各テーマ別に進行)	
	第6回	各テーマ別関連資料の収集② (全員)	各テーマ別関連資料を集めて行く。(各テーマ別に進行)	
	第7回	各テーマ別関連資料の整理① (全員)	各テーマ別関連資料を整理する。(各テーマ別に進行)	
	第8回	各テーマ別関連資料の整理② (全員)	各テーマ別関連資料を整理する。(各テーマ別に進行)	
	第9回	企画書の修正① (全員)	企画された提案の修正作業を行う。(各テーマ別に進行)	
	第10回	企画書の修正② (全員)	企画された提案の修正作業を行う。(各テーマ別に進行)	
	第11回	企画書の補完① (全員)	企画された提案の補完作業を行う。(各テーマ別に進行)	
	第12回	企画書の補完② (全員)	企画された提案の補完作業を行う。(各テーマ別に進行)	
	第13回	企画書の最終修正及び確認 (全員)	まとまった企画案あるいは実施案をプレゼン用として最終的な修正・補完作業を行う。(各テーマ別に進行)	
	第14回	発表練習 (全員)	企画案あるいは実施案をプレゼン用として修正・補完し、事前発表練習を行う。(各テーマ別に進行)	
	第15回	成果の発表とまとめ (全員)	最終発表練習を行い、全体の授業内容をまとめる。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		各テーマ別にグループディスカッションとフィールドワークを中心に行う。		
授業外学習の指示		講義の内容を復習する。不明な点がある場合は各担当教員に質問すること。 (授業外学習時間： 毎週 180 分)		

教科書	教科書は使用しない。随時、資料を配付する。
参考書	与えられた課題に対する関連資料(インターネット情報含む)。
参考URLなど	特になし
その他	各テーマ別にグループディスカッションとフィールドワークを中心に行う。フィールドワークとして土・日活動もあり。(担当教員が指導、または同行)。 本講義は「キャリアデザイン2」と連続する内容であるため、「キャリアデザイン2」を履修することを前提に講義を進める。

キャリアデザイン特講A

評価規準 項目／観点		レベル高 ← 評価基準 → レベル低		
		例：模範的、レベル3	例：標準、合格、レベル2	例：要改善、不合格、レベル1
1	授業態度	遅刻、退席はなく、居眠りや私語をしていない。積極的に発言や質問をしている。	遅刻、退席はほとんどなく、居眠りや私語はほとんど見られない。発言や質問はそれほど多くない。	遅刻、退席、居眠りや私語が多い。
2	企画書の作成	課題の条件（字数、テーマ、体裁など）が満たされている。背景、問い、目的が要約されており、企画内容を裏付ける論拠が整理されている。	課題の条件（字数、テーマ、体裁など）が満たされている。背景、問い、目的の要約はされているが、やや曖昧である。	提出がない、もしくは課題の条件（字数、テーマ、体裁など）を満たしていない。
3	グループワーク	よりよい成果に向け、新たな視点を提示するなど、積極的に取り組んでいる。他のメンバーへの働きかけを行い、与えられた以上の役割を果たしている。	グループ内での発言や傾聴の姿勢は見られ、成果に向けて取り組んでいる。与えられた自分の役割を果たしている。	グループ活動に参加していない。または発言をしない、他人の意見を聞かないなど、メンバーとコミュニケーションがとれていない。
4	プレゼンテーション	聴き手を意識した話し方や、アイコンタクトの取り方に工夫が見られる。内容の整理がされており、根拠のある主張ができている。	話し方や、アイコンタクトの取り方を意識している。内容は伝わるが、主張にやや論理性が不足している。	発表ができない。またはずっと原稿を見ているなど、聴き手を意識した話し方になっておらず、話の内容が伝わらない。
5				
6				
7				